# 4 関係者によるワークショップの開催

伊予市の何気ない素敵な風景や人などの情報を発信する、潜在的におもてなしをしたい方 をつなげるきっかけづくりとして関係者によるワークショップを実施した。

ワークショップの内容は、伊予市における価値をあらためて見つめ直し、どのように価値を 伝えるのか、その手法を各分野の最前線で活躍する現役の講師を迎えて講座を開催した。

# 4.1 ワークショップの企画

仕様書による2回のワークショップに加え、プラス1回をオプションとして付加し、合計3回のワークショップを創出し参加者に向けたテーマの更なる浸透を狙った。

### 4.1.1 ワークショップの目的

「おもてなしさん」のコアメンバーになり得る参加者の皆様に、実践的な基礎知識を会得していただき、今後の「おもてなしさん工房」の運営スキルを持っていただくことを目的とする。

# 4.1.2 ワークショップのテーマ設定

全体の企画共通テーマ「価値」

- 第1回「価値を見つける」
- 第2回「価値を共有する」
- 第3回「価値を発信する」

# 4.1.3 参加者の募集

伊予市が「おもてなしさん」にふさわしいコアメンバーの募集を行った。

#### 4.1.4 ワークショップの概要

表 4.1 ワークショップの概要

秋 +.1 ノ ノノコノノ い M 安				
回数	日時	ワークショップの概要		
	Δ₹10 T 1 B 10 B (.l.)	テーマ:「価値を見つける」		
<b>华</b> 1 同		講師:宮本孝一氏(Onice 代表)		
第1回	令和3年1月12日(火)	検討内容:価値そのものの定義と構造を学び価値を見つける基		
		礎理論を身に付ける。		
	令和3年1月14日(木)	テーマ:「価値を共有する」		
笠 0 同		講師:小林哲朗氏(写真家)		
第 2 回		検討内容:フィールドワークで伊予市の魅力を写真で切り撮り、		
		価値として共有する手段の基礎を学ぶ。		
	令和3年1月30日(土)	テーマ:「価値を発信する」		
第3回		講師:吉川公二氏		
第3四		検討内容:発信におけるリスクと手法を学び、安定した発信の基		
		礎を学ぶ。		

### 4.2 ワークショップの開催結果

コロナの再流行により、すべてのプログラムがリモート開催となったが、参加者の目的意識 の高さと講師の熱意がシンクロし、深みのある学びを楽しく提供できた。

特に第 2 回ワークショップのフィールドワークは現場である伊予市に入れない為、写真を 撮るワークをリモートで行うという難しい課題だったが、講師の指導のもと参加者も楽しみ ながら結果を出す事ができた。

第3回ワークショップは、情報発信で活躍する人が講師となり、今、必要な事を高いレベルで伝え、短い時間ではあったが、参加者それぞれにポイントとなる気づきを残す事ができた。参加した方が中心メンバーとして理論と実践の入口に立ち、今後の拡がりに対して先導的な役割を担えるスキルを身に付けることができた。また、振り返りと拡散のツールになり、より確実な「おもてなしさん」育成に繋がる作法集をワークシップの成果として取りまとめた。(作法集は6章参照)

#### 4.2.1 第 1 回ワークショップ

#### 1) タイムスケジュール

当日のタイムスケジュールは下記のとおりである。

	衣 +.2 另「回) ノンコノンのハインユール
時間	会議の内容
13:00~14:30	1. あいさつ・参加者自己紹介・宮本氏自己紹介・概説
14:30~15:00	2. 参加者からの質問
15:00	3. クロージング・終了
備考	4. パシフィックコンサルタンツ㈱会議室よりリモート開催

表 4.2 第1回ワークショップのスケジュール

#### 2) 開催概要

日 時:令和3年1月12日

場 所:伊予市会議室/パシフィックコンサルタンツ㈱会議室

出席者:伊予市参加者/パシフィックコンサルタンツ㈱高木宏二・上野正美

石鎚商事(トキトキ堂)大西淳浩・福永眞子

Huahuadesign 安藤里実

講 師:宮本孝一

#### 3) 講義内容概要

- ○現在は資本主義から共感・発想資本主義の時代 それを踏まえて伊予市の価値を考えてみる
- ○価値とは何か?→新しい概念
- ○3 つのステップで新しい概念を見つける

STEP1:概念の構造化→STEP2:概念を特定→STEP3 新たな概念の所在を選択

○まとめ(今回のお話で最も大事なところ)

WHAT価値=新しい概念

HOW STEP1 概念の構造化

STEP2 概念を特定

STEP3 新たな概念の所在を選択

この3つのポイントを常に頭に置き、繰り返しミーティングを重ねる事で、時代に流されない伊予市の本当の価値を見つけ、共有し、発信しつづけることが可能になる。

#### 4) 意見交換

- Q)「概念の構造化」をする中では、縦軸と横軸に何を設定するかがキモになると思います。今後、 自分で活用してみようとする際、最初にその部分で躓いてしまいそうなのですが、縦軸、横軸の 指標を設定する際の考え方について、アドバイスいただけますか?
- A)この軸の設定については、私も最初からうまくいった訳ではありません。なので、軸を切るとしたら何を設定すると良いのか、ということについては常に考えています。 強いて言うなら、「無理やりにでも切る」と考えると、頭の中に浮かんでくるものなので、そうしたトレーニングを積むことをお勧めします。それから、あるアイディアが出たときには、アイディアが出た背景を探るという工夫をしてみると面白いと思います。それを見て、何かしようとしたときには、「これをこうしたら良いな」という何か理由があると思いますので、そのアイディアを分解して軸の指標に設定するのも、方法としてはあると思う。それからアプローチの方法としては、複数人で考えるときには、色々な人の意見をベースにしながら、軸に設定する項目を探していくというやり方もあると思います。

#### (受講風景)









# 4.2.2 第 2 回ワークショップ

# 1) タイムスケジュール

当日のタイムスケジュールは下記のとおりである。

表 4.3 第2回ワークショップのスケジュール

時間	会議の内容
13:00~13:40	1. あいさつ・新規参加者自己紹介・小林氏自己紹介・概説
13:40~14:10	2. フィールドワーク 1 回目/全員の講評
14:10~15:10	3. 全体講評
15:10~15:30	4. フィールドワーク 2 回目
15:30~16:20	5. 全体講評・クロージング

#### 2) 開催概要

日 時:令和3年1月14日

場 所:伊予市会議室/パシフィックコンサルタンツ㈱会議室

出席者:伊予市参加者/パシフィックコンサルタンツ㈱高木宏二・上野正美

石鎚商事(トキトキ堂)大西淳浩・福永眞子

Huahua d e s i g n 安藤里実

講 師:小林哲朗

#### 3) 講義内容概要

- ○第1回目で理解した「価値」について、実際に価値を切り撮ってみる。
- ○伊予市役所付近にて参加者がスマートフォンを使い、それぞれが考える伊予市の価値を切り 撮るフィールドワークを実施し、小林哲朗氏から講評を受ける。
- ○講評を頭に入れ再びフィールドワークに行く。
- ○小林哲朗氏から講評を受けるが、価値の見方(視点)を少し理解された事で、各段に発信しや すい楽しい写真になっている。
- ○小林哲朗氏から、価値の切り撮り方、視点の持っていき方などの話を聞く。

# (1) 発表

撮影した写真の発表と講師の助言などを記載する。



#### ○写真の講評

#### タイトル「ロミオとジュリエットが出会ったバルコニー」

(服を)干すとき1回物干し竿を外して服の袖に通して 干していて、相当な手間が掛かっているところに目を引 かれました。写真を撮った後にタイトルは何かと考えた とき、バルコニーといえばロミオとジュリエットかなと考え ました。ここで二人が出会っていたら面白いのではない かと思いこのタイトルにしました。

#### (小林講師の好評)※あえて好評としています。

すごい、素晴らしいです。この雰囲気からそれが出てくるのはなかなか、良いですね。







#### ○写真の講評

#### タイトル「大人のワクワク」

古い建物の片づけ作業をしているのを知っていた 為、撮りに行ったところ、作業はしていませんでした。 しかし、「ちょっと見ていってくださいよ」と写真の光景 を見せられました。

#### (小林講師の好評)

すごいですね。完全にスナイパーですね。殺りに行く ところですよね、すごい、影の感じ。写真としても素晴 らしいですね。こんなシーンはなかなか出会えないで す。

# ○写真の講評

# タイトル「表から見ても裏から見ても 22=55」

時間の制限があったので、図書館で伊予市に関する本が並んでいる背表紙を撮ろうと思い、そのコーナーを探しているとき、ふと上を見ると22と55が並んでいて、どうして横並びのはずなのに、数字に差が開いているのかと思ったら、ただ単に22が裏返しになっていて55に見えていました。前から見ても後ろから見ても22というのがちょっと面白かったので、撮影しました。

#### (小林講師の好評)

そういうことか!そんなカラクリがあるんですね。面白い、すごい。

# ○写真の講評

#### タイトル「海の矢印」

伊予市の駅の前で良く通っている場所ですが、この 通りに名前があることを知らず、ふと看板を見れば花 かつお通りと書いていて、伊予市ならではだなと感じ ました。そしてしおさい公園や五色姫海浜公園の矢 印が続いているのを見て鰹と海を掛けて矢印を通し ているのかと思い撮影しました。

# (小林講師の好評)

なるほど、情報量が多いですね。良い感じで多いですね。分かりやすい感じですね。香りがします、花かつおの。





#### ○写真の講評

# タイトル「その先がしりた伊予~☆」

写真を撮るスキルがなかなか無いので、ストーリー仕立てにして撮りました。

カモメを見る側に置き換えて、もう一枚写真があるのですが、大阪人のノリで少しモジって「この先が知りたいよー」の「いよ」を「伊予」にモジってみました。皆さんの中にも変わりたい自分が居るはず、そこでなかなか足踏みしてるところを伊予に来ることで新しい自分を発見してほしいという気持ちで写しました。

#### (小林講師の好評)

なるほど。そうですよね、それ(いよを伊予に)は考えますよね。素晴らしい、そんな思いが込められているとは。良いですね。

# (受講風景)





※参加者の撮影した写真の共有ツールとして LINE グループを伊予市に作っていただき、リモート画面共有でスムーズに講評を行うことができた。

#### 4.2.3 第 3 回ワークショップ

# 1) タイムスケジュール

当日のタイムスケジュールは下記のとおりである。

表 4.4 第 3 回ワークショップのスケジュール

時間	会議の内容
13:00~13:20	1. あいさつ・新規参加者自己紹介・吉川氏自己紹介
13:20~14:20	2. 解説
14:20~15:30	3. ミニグループワーク/グループ発表/講評
15:30~15:40	4. 質疑応答・クロージング

#### 2) 開催概要

日 時:令和3年1月30日

場 所:伊予市会議室/パシフィックコンサルタンツ㈱会議室

出席者:伊予市参加者/パシフィックコンサルタンツ㈱高木宏二・上野正美

石鎚商事(トキトキ堂)大西淳浩・福永眞子

Huahuadesign 安藤里実

講 師:吉川公二

#### 3) 講義内容概要

- ○広報 PR・魅力向上につながる発信力について事例を紹介しながら学ぶ。
- ○発信とはどういったものかを整理し学ぶ。
- ○発信の際のリスクマネジメントについて学ぶ。

#### (1) 意見交換

#### ▶班 1

伊予市は暖かい場所で、人が温かい、住みやすい気軽な感じ、自然が豊かで、海、山がある。 国道、高速、空港、電車、バス、交通の便がよいということで、南予、中予、全部行きやすい。 あと、食べ物がおいしいなどの魅力があります。

課題は知名度が低いこと。伊予市と言えばこれというのがない。検索したときに引っかかってこない。宿泊施設に関してもピンと来ないということでした。人が外から来たときのルールがない。 任意で情報発信するときの責任の所在など、実際にそんなリスクが出てくるのではないか。 これらのリスクをサポートする方法として、発信のルールを作ってみてはどうか。実際に取材したお店の了解を取るとか、発信者側、私たち側のキャラクターを作る。例えばバナーを作ってみるなどの意見も出ています。

#### ▶班 2

伊予市の魅力は、まち自体が自然に囲まれ人も自然体、オーガニックという言葉が似合う。伊予 弁、言葉自体が柔らかい。食材もエネルギーが高い。都会から移住してこられた方にとって時間 をかけて輸送してきたものと比べるとすごくエネルギーを感じて、薄味で塩と醤油とお味噌だけで いただけるようなものも多い。

新規事業者の方が最近増えているということは見逃せない。公共交通機関が充実していて、松山からのアクセスがしやすい。四季折々の自然が楽しめ、ホタルも見れる。スーパー、ドラッグストアも多い。また意欲的な人が多く、まちのことを考えて活動している方たちが多い。

#### ▶安藤

発信されていなかったり、言葉として、情報として出てきていないものがすごくたくさんある。

#### ▶吉川

一番大切なところは、伊予市にいる人、伊予市に住んでいる人、学んでいる人、働いている人自身が楽しんでいるかどうか、面白がっているかどうか、楽しんで何かをやっているかどうかというのがまず大事です。

# (受講風景)













#### 4.3 ワークショップのまとめ

以下に第1回から第3回ワークショップ後の参加者の意見を整理した。

### 4.3.1 第 1 回ワークショップ感想とりまとめ

#### 1) ワークショップを通して気づいたこと、感じたこと

- ・ 価値を見つける技を教えて頂き、大変参考になった。りんごや鬼滅の刃など、具体例を挙げていたのが良かった。3 つのステップを念頭に置き、今後の業務に生かしていきたい。
- ・価値の見つけ方の講義大変参考になりました。ありがとうございました。ただ、地域ごとに特性のある伊予市で、この手法を選択する場合、すり合わせ等が必要になってくると思います。あくまでも参考とした方がよいのでは?
- 価値観の方向性も(個人に向かうか←社会の流れではこっち?、社会に向かうか←観光業は普 遍性が必要では・・・)あやふやにできない部分です。
- 一過性にさせない工夫が必要です。ちょっと矛盾を感じました。
- 思考をクリアにするための技術を教えて頂いた気がします。
- 目的→手段は目からウロコでした。
- 名前を付ける、定義する、そして実行する繰り返しをしたいと思います。
- ・「概念の構造化」は、新鮮な考え方でした。考え方をまとめるのが得意ではないので、整理することが大切だなと思いました。
- ・ 今、自分が感じている価値は、必ずしも誰かに対して価値があるものではないけれど、何ものでもないものに価値をつくり出すことができるのかも。つくり出す技術のきっかけをつかみたいと思います。
- ・ 本日はとても気付きの多いワークショップでした。私の中では感動的でした。「したいこと」が漠然 としていたので。
- ・ 軸の考え方は、とてもしぼっていける、すばらしい!!お話しだと思います。落とし込む訓練を 楽しみながら、どんどん作っていきたいと思います。ありがとうございました。
- 宮本さんからの話が、とても勉強になりました。
- ・ 漠然とした感覚をクリアにしていく作業をすることで、新しい概念 = 「価値」につながるということが、目からウロコでした。
- ワークショップ自体も、心が動くワクワクするものになっていくと良いです。
- 例題が初めは難しく感じましたが、フリートークで価値の見つけ方が理解できたかと思います。 身近な所から考えるトレーニングを行いたいです。
- ・ 共感資本主義時代の部分のお話で、頭で考える価値→心で考える価値という点が、実務でも 感じていたので腑に落ちた。
- Instagram の投稿でも、自分が楽しんで熱量高く紹介できたらフォロワーからコメントを多くもらえる。しかし、自身の気持ちが乗ってなかったり「宣伝したい」という邪念が透けるとコメントが全くつかない、など。
- ・ 概念の構造化は、頭で分かったつもりでも、作り上げるのは難しそう。
- ・観光資源は手段として考えると新しい展開が見える、というお話は、深めていきたい。
- ・ 宮本さんのお話を聞けて、自分たちの伝えたいものを、まだ知らない人(お客様、伊予市外の人々)にワクワクするように伝える方法として、軸を使った考え方を教わり、とても大切な時間となりました。コロナで旅行や現地に足を運べない今だからこそ、自分たちの伝えたいものを写真や言葉、新しい概念や価値で伝えていけるように学んでいきたいと感じました。

#### 2) ワークショップに関する感想、要望等

- 異業種の人々と交流できて良かった。
- ・ コロナ禍での開催、ご苦労さまでした。今回はタイムラグ等で、時間通り、思い通りに進まなかったと思います。もう少し、質疑応答の時間を長めに取ってもらった方が、もっと意見も出たかも。
- ・子どもは地域の未来ですので、子どもも含めてのワークショップがあればいいなと思います。
- それこそ、感性からはじまる何かが欲しいです。
- ・ 発想が面白くて、目からウロコでした。次回も楽しみです。
- 初回なのでまだイメージしきれていないので、後半でひらめきからお伝えしたいと思います。
- ・ 1回目ということで、講義内容等の資料があれば、リモートでも聞き取りやすいかと思いました。
- ・ 一人ひとりがカメラ、マイクを持って、完全オンラインでの実施の方が、対話型ワークショップに向いていると思います。リアルの会場が置いてけばり感がありましたし、講師の方への反応が伝わらず、やりづらかったのではないでしょうか。
- 新しい考え方(軸をつかったもの)を知れて楽しかったです。ありがとうございました。

# 4.3.2 第 2 回ワークショップ感想とりまとめ

#### 1) ワークショップを通して気づいたこと、感じたこと

- ・ 講師の貴重なお話や講評など大変参考になりました。観光パンフレットに載らない魅力や価値 が発見できたので、引き続き皆さんと価値を共有し、楽しみたい。共通のハッシュタグをつけて、 チーム戦で取り組んでいきたい。
- ・撮影時間あと 10 分欲しかったです。皆さんのものの見方や切り取り方お上手で、それぞれにクセ?があり大変参考になりました。
- ・ 今まで、写真は物や風景を表す記号程度の認識でしたが、今回のワークショップでは発表されていた写真は、ちゃんと「○○さんらしい」と思えるものばかりで、改めて表現することの奥深さを知りました。
- 写真を撮る楽しさを実感できたことと自身の個性を生かしたものでよいと教えていただき、1 回目 の WS と共通する点も体感できました。
- ・ SNS は、得意分野ではないが、発信することが楽しみになりました。コメントのインパクトや投稿の 方法を学ぶことができたので実践していきます。
- 町に対する「つっこみどころの多さ」は、町のポテンシャルだと感じました。
- ・ ただ、つっこみ = 悪意や意地悪と感じられる方はいると思うので、どこまで心情的に許容される かが難しいです。
- 伊予市の街歩き自体がとても楽しかったです。入ってみたい気になるお店がたくさんあります。
- ・ 地元の方とひとことふたことお話ができると些細な出来事やただの散歩が特別感を感じるだろうなと思いました。 何気ない 目線を誰かに届けると思うとワクワクします。
- ・ 本日も「はっと」する 納得する 考え、方法を教えてくださりありがとうございました。自分が何気なく思うナチュラル感を、どう表現するか少しわかってきた気がします。気負いすることなく楽しみながら、ワクワクの共有をしていきたいと思います。
- ・ 日常に転がっている「くすくす」に目をつけて切り取っていくという作業がおもしろかったです。色 んな個性(目のつけ方)が集まって伊予市の情報が発信されると面白いと思いました。
- 「伊予市といえば!」がうすいので、やりやすいのではないかと思いました。

#### 2) ワークショップに関する感想、要望等

- ・ 講師の先生との質疑応答の時間が長く設けられており、非常に良かった。野外での自由撮影会等新鮮で楽しかった。有意義な WS だった。
- ・参加者同士が意見を出し合う場面を用意してもらえなかったのが、1回目・2回目とも少し残念でした。
- ・ 体験型の WS で分かりやすく、フリートーク時間も皆さんの感性を感じるいい時間でした。
- 1回目よりも聞きやすく改善していただき、ありがとうございます。
- ・ みなさんの撮影がおもしろかったので、SNS 等で公開できる場があるといいなと思いました。
- ・とても楽しいワークショップでした。素人目線の感覚的な発信が面白いという関係が新鮮でした。
- ・ 写真を撮りに行く時間が短いと思いましたが、一瞬の切り取りには時間は関係ないとわかりよかったです。

# 4.3.3 伊予市"おもてなしさん"ワークショップアンケート(3 回を終えて)とりまとめ

以下に3回のワークショップ終了後のふりかえりシート(アンケート)の結果を整理する。

#### 1) ワークショップを振り返って

# (1)3回のワークショップを終えて伊予市に対する意識・考え方に変化があったか

3回のワークショップを終えて伊予市に対する意識・考え方は、「ア.変化した」が90.9%、「イ.変わらない」が9.1%となっている。



図 4.1 伊予市に対する意識・考え方の変化

#### **<コメント>**

- もっと地域を知りたくなった。まだまだ知らないという気づき。
- ・まず、伊予市の方が「楽しい、嬉しい」を感じて頂き発信できたら良いなと感じました。
- ・おもてなしさんは代表で伊予市民「愛」を同じ感度にしたいです。

#### (2) ワークショップで見つけた・感じた伊予市の魅力について

- 「まだ知らないこと」は逆に魅力であると思います。
- ひとの温かさ。
- ・生活圏に自然がある。
- ・ 空の美しさ。
- ・魚や食材に恵まれていること、普段目にする風景が絶景であること。

#### (3) 伊予市の魅力をシェアしたいと思うか

伊予市の魅力をシェアしたいと思うかは、「ア. 思った」が 100.0%となっており、全員が 伊予市の魅力をシェアしたいと考えている。

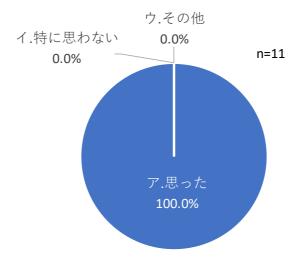


図 4.2 魅力のシェア

#### <コメント>

- ・「行ってみたい」と思ってもらえるような PR をしたい。
- すでに SNS で発信しています。みなさん「コロナが落ちついたらぜひ!」と言っております。
- ・ 自分の住んでいるところを当り前にポジティブに語りたいなという思いを改めて実感した。

#### 2) 今後の意向

#### (1) おもてなしさんになってみたいか

おもてなしさんになってみたいかについては、「ア. なってみたい」が81.8%、「ウ. その他」が18.2%となっており、約8割の方がおもてなしさんになってみたいと考えていることがわかった。

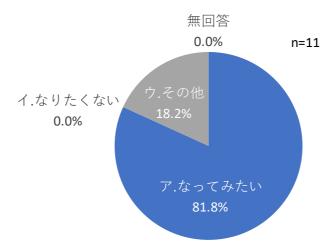


図 4.3 おもてなしさんのへの意向

#### <コメント>

- ・ SNS を個人で運用していない。
- ・ 伊予市全体がこの意識になることは大事だと思います。意識の乖離はリスクを生むと思いますので。 (アンチができる。)
- 伊予市の魅力発信という面で協力できるコミュニティ、情報が集まるコミュニティにぜ ひ参加させていただきたいと思います。

#### (2) 魅力発信をすすめていくには自身でどのような関わりができるか

- ・まず、個人のアカウントの自己紹介を「伊予市在住」に変えました。
- ・ HP や SNS での発信。
- ・魅力ある場づくりのお手伝いかと思っています。

#### (3) ご自身の活動にあたりどのようなサポートがあればよいか

- ・集える、気軽に声がかけあえるスペースがあれば、、、それはハードでなくても web でもいいと思います。 (個人的には写真が撮れるスペース、倉庫などを探しています。)
- 人と人を、場と場をつなげる機能・支援があればとイメージしています。
- フォロー、シェア、および情報提供。
- ・情報の集約。伊予市では行政、個人事業者共に発信が乏しい状況が課題としてあると思います。閉鎖的な部分を切りひらいて情報が集まると発信も活発になるかと思います。

#### 3) 今後の観光施策に向けて

#### (1) 伊予市で実施したらよいと思われる観光のための施策についてのアイディア

- ・ しおさい公園に3オン3のコート
- ・ 情報が集まる場所
- ・ 毎日リアルタイムな伊予発信
- ・ 観光用の HP とガイドマップ、宿泊案内、飲食店案内、レンタカー、レンタサイクル、サイクルガイド
- ・ THE 観光よりも生活や仕事の延長のような観光の受け皿

# (2) 観光客におすすめしたい場所

観光客におすすめしたい場所を以下の5つの分類で整理した。

表 4.5 観光客におすすめしたい場所

分類	名称	おススメ理由
	大洲街道	特に藤縄の森あたり、川沿いがタイムスリップ気分
4-4-7- <del>7</del>	郡中市街地•郡中地区•郡	古くからのまちなみが残っている
街並み系	中のまちなみ	歴史がある
	湊町のまちなみ	
	谷上山·谷上山公園	展望台からの眺めが絶景
	伊予灘 SA	伊予市と道後平野を一望できる爽快感
	中山フラワーハウス	すてきな場所
	南伊予地区	海・山・街全部見える
自然·景観系	串駅	下灘駅以上の風景
	海	
	中山から山を抜けたところ	
	タやけこやけライン	
	五色浜•五色姫海浜公園	
	にくの一色	
	濱田屋	カツ丼が美味しい
	いよプリンスホテル	ランチ 650 円 地場野菜
食、買い物系	アンパティスリーたの	プレゼントでもらっておいしかった
	南伊予エリアのカフェ	
	夕焼けぴちぴち市	
	珍味やだしや	
	夕焼けプラコン	出演したい
	伊予彩まつり	規模も大きくロケーションが良い
体験・イベント等	双海でのパラセイリング	やってみたい。夕日の時キレイそう
作品なった。これ	道の駅なかやまクラフトの	
	里	
	SUP	
	山吹神社	佇まいが悶絶
	伊豫岡八幡神社	静寂感、さびれた感が最高
その他	シーサイド公園	恋人の聖地
	唐川	びわ農園
	海沿いの元気な人材	

※赤文字は具体の位置が不明なもの

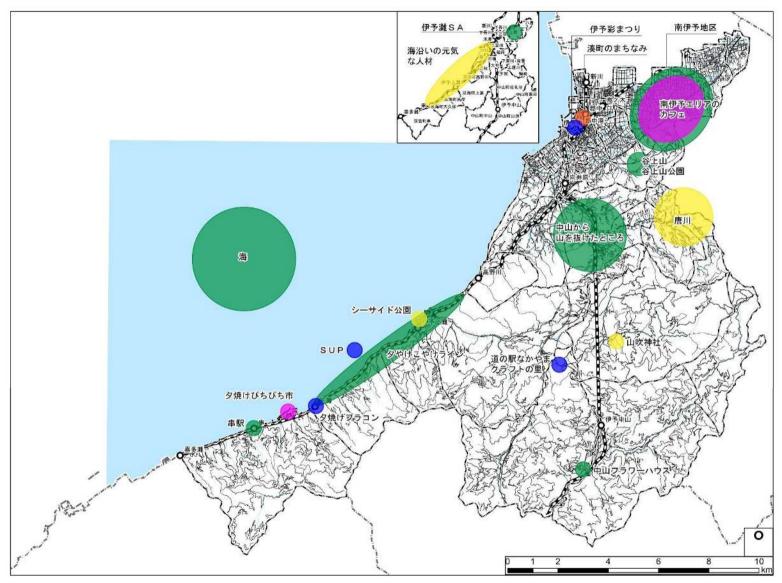


図 4.4 観光客におすすめしたい場所(市全域)

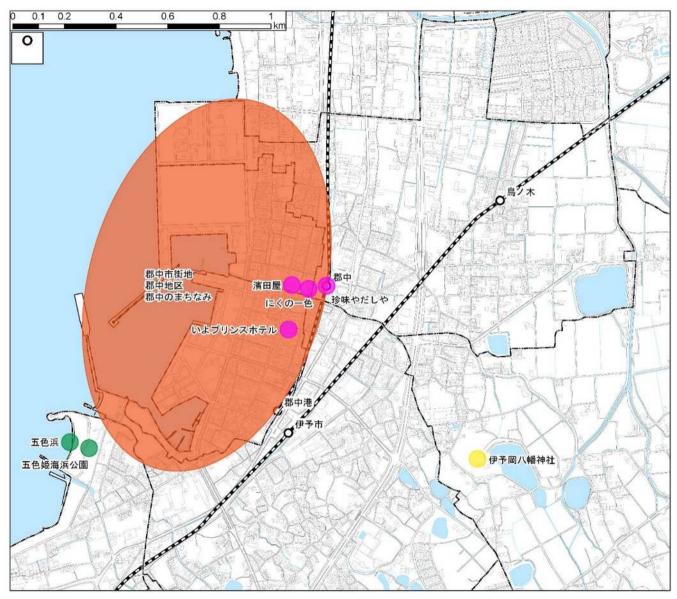
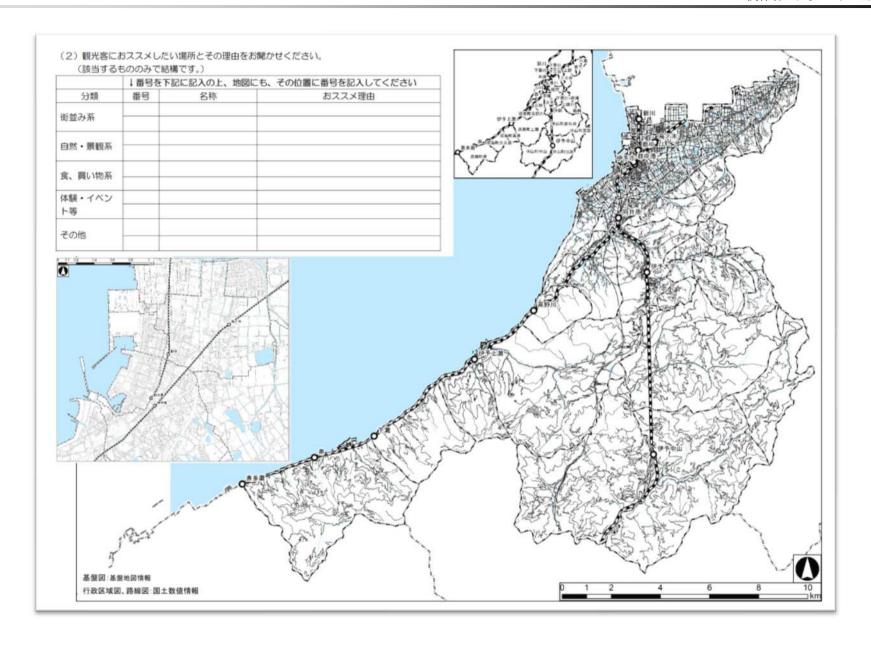


図 4.5 観光客におすすめしたい場所(市中心部)

# 参考) 伊予市"おもてなしさん"ワークショップアンケート(3回を終えて)

ご回答者様について				(1) 今後、伊予市のことを知り、お気に入りの魅力を気軽に人に伝える、また、おもてなしするのが楽しいと感じられるような人"おもてなしさん"の仲間が伊予市内に広がっていくとよる。
お名前	(	)		いと考えています。あなたは、"おもてなしさん"になってみたいですか。
	<b>参加状況</b> (いずれかの記号を付けてください)	第1回(	)	ア. なってみたい イ. なってみたいとは思わない ウ. その他
<ul><li>O:参加した</li><li>A:参加していないが</li></ul>	* 内容は理解できている (関係報告などで)	第2回(	)	ご回答の理由など、コメントがあれば、下記にご記入ください。
△: 参加していないが、内容は理解できている (開催報告などで) ×: 参加しておらず、内容も理解できていない		第3回(	)	
TO MINI TO	/ HERRICELL D. Zo	No.		関わりができる(やりたい)と思いますか。
ア・変化した ご回答の理由など、こ	イ. 特に変わらない ウ. その ロメントがあれば、下記にご記入ください。	他		
ご回答の理由など、こ	コメントがあれば、下記にご記入ください。 書のけた・感じた「伊予市(ご自身の地域)」の		どのような	(3) ご自身(ご所属団体)の活動にあたり、とのようなサポートがあればよいと思いますか。
ご回答の理由など、こ ) ワークショップで見 ことが挙げられます	コメントがあれば、下記にご記入ください。 書のけた・感じた「伊予市(ご自身の地域)」の	魅力について、		
ご回答の理由など、こ	0メントがあれば、下記にご記入ください。 見つけた・感じた「伊予市(ご自身の地域)」の が。	魅力について、		(3) ご自身 (ご所属団体) の活動にあたり、どのようなサポートがあればよいと思いますか。  3. 今後の観光施策に向けて 伊予市では、今後の観光振興の方向性を検討する、観光戦略を策定しています。観光戦略策定



# 目次

4 関係者によるワークショップの開催	.4-1
4.1 ワークショップの企画	4–1
4.1.1 ワークショップの目的	4-1
4.1.2 ワークショップのテーマ設定	4-1
4.1.3 参加者の募集	4-1
4.1.4 ワークショップの概要	4-1
4.2 ワークショップの開催結果	4-2
4.2.1 第 1 回ワークショップ	4-2
4.2.2 第2回ワークショップ	4-4
4.2.3 第 3 回ワークショップ	4-7
4.3 ワークショップのまとめ	
4.3.1 第1回ワークショップ感想とりまとめ	4-9
4.3.2 第2回ワークショップ感想とりまとめ4	4-10
4.3.3 伊予市"おもてなしさん"ワークショップアンケート(第3回を終えて)とりま	